

食育活動優良事例発表会 in さっぽろ

～次世代を担う子どもの食を考える～

目的
concept

子どもたちを対象として農作業体験や調理加工体験などに関する取り組み事例をもとに、教育ファームに対する理解と食や農に対する関心を深めてもらい、次世代を担う子どもの健康増進を図ることを目的としています。

内 容 details

1. 会場受付 [18:15～18:30]

2. 主催者あいさつ

市民体験農業を考える会 会長 近藤 勝

3. 基調講演：テーマ「子どもの食と健康」 [18:35～19:15]

講師／社団法人 北海道栄養士会 食育推進委員長 山際 瞳子氏

4. 食育活動優良事例発表 [19:15～20:15]

- コーディネーター 国立大学法人 北海道大学大学院農学研究院 教授 飯澤 理一郎氏
- 優良事例発表
- 「砥山農業小学校」 砥山農業クラブ 代表 濑戸 修一氏
- 「学校給食支援」 NPOさっぽろ農学校俱楽部 理事 小池 道雄氏
- 「畑のようちえん」 北海道子連れプロジェクト 代表 平島 美紀江氏
- 「フードリサイクル」 八軒北小学校 栄養教諭 原 ゆみ氏

5. 質疑応答・アンケート調査 [20:15～20:30]

6. 閉 会 [20:30]

山際 瞳子氏 プロフィール profile



山際 瞳子

Mutsuko Yamagawa

社団法人 北海道栄養士会 食育推進委員長

天使女子短期大学栄養学科を卒業後、札幌市の学校栄養職員として勤務する傍ら、日本栄養士会、北海道栄養士会の会員として活動。札幌市学校給食栄養士会会长、(社)北海道栄養士会学校健康教育栄養士協議会会長、(社)北海道栄養士会副会長などを歴任し、現職に就く。現在も、藤女子大学、天使女子大学、酪農学園大学などで非常勤講師として教鞭をとる傍ら、北海道健康づくり実行委員会、北海道食の安全・安心委員会、北海道食育推進検討委員会など数多くの委員を務め、北海道食育アドバイザーとして活躍中。

【講演の概要】(テーマ：子どもの食と健康)

食育とは？そして、今、なぜ「食育」なのか。

現在、子どもたちを取り巻く食に関しては、偏った栄養摂取や孤・個食、また、肥満、痩身の増加傾向、運動能力の低下など様々な問題が生じています。

このような食生活の問題点と健康・栄養の現状を知り、食環境の変化への対応、および食生活の課題解決を考えてみたいと思います。なかでも、子どもたちに望ましい生活習慣を身につけさせることは、次世代を担う子どもたちが健全な生活を送る上でとても重要であると考えています。

栄養のバランスとは何か、どのような物を食べたらよいのかなどの知識と生活中ですぐ実践できるような体験の場や、「食」をつくる、探る喜びを知ること、すなわち、子どもが興味、関心をもって無理なく学ぶことができる場の設定が大切になりますが、学校教育でも、そして学校給食での「地産地消」型への期待にも目を向けてみたいと思います。

4団体の取り組み事例 instance



「砥山農業小学校」
(砥山農業クラブ 代表 濑戸 修一氏)

南区砥山地域の農家で組織する「砥山農業クラブ」が主催し、小学生とその家族を対象に農業体験の場として2003年に開校しました。今年で6年目となります。山間の豊かな環境の中での農作業や果樹の加工体験を通して、作物を見て、収穫する喜びと食べる楽しみを体験することで、農業に対する理解の深まりと、この地域への愛着が芽生えることを期待しています。



「畠のようちえん」
(北海道子連れプロジェクト 代表 平島 美紀江氏)
「地域で子育てをもっと楽しく」をモットーに活動しています。「のこたべ」(残さず食べると「のこのこ育児」の略)という「ゆるいスローフード」を提案するフリーマガジンの発行を軸に食育活動を行っており、昨年はサッポロさとらんどで「畠のようちえん」を実施。畠のコンサート、親子収穫体験などを行いました。



「学校給食支援」
(NPOさっぽろ農学校俱楽部 理事 小池 道雄氏)
2006年より始まった「さっぽろ学校給食フードリサイクル」事業に初回から携わってきて、今年で3年目を迎えました。学校給食用に作っている作物は「とうもろこし」です。今年は7校に2410本の“もぎたてとうもろこし”を届けることができました。育ち盛りの小中学生に「おいしく食べて、元気に育て！」という思いで会員一同が丹精こめて作っています。



「フードリサイクル」
(八軒北小学校 栄養教諭 原 ゆみ氏)
本校では、給食の食べ残しや調理残渣を堆肥化し、それを使い作物作りに挑戦しています。21世紀の循環型社会への対応を教育活動により学び、偏食や食べ残しについて考え「人は何故食べるのか、人はどのように食べるべきか」を体験を通して学んでいます。